

八幡堀と町家の430年の道のり

近江八幡開町の祖「豊臣秀次」と「八幡商人」

安全な屋敷 西村太郎右衛門 (新町市立資料館)



八幡堀界隈のお店へ行こう！

西村太郎右衛門の家族が処刑されたのは三条河原の中洲です。1611年(慶長16年)、角倉了以によって高瀬川を開く工事が行われていたときに、偶然発見された石に秀次悪逆塚と刻まれていました。それは1595年(文禄4年)切腹させられた豊臣秀次の石塔だったので、実は高瀬川の開削責任者だった京都の豪商角倉了以の実弟吉田宗恂(医師)は、秀次に仕えていたことがあり、彼は秀次事件への連座は免れましたが、前年の1610年(慶長15年)に死去してしましました。慶長16年は宗恂の一周忌にあたることから、角倉了以と浄土宗西山派の僧・立空桂叔和尚は、秀次の菩提を弔うために江戸幕府の許可を得て堂を営むこととし、秀次の戒名「瑞泉寺殿高厳一峰道意」にから寺号を取って瑞泉寺を建立しました。以後、瑞泉寺(中央区木屋町三条下ル)は400年間にわたり秀次事件により死罪となった秀次と連座した一族・家臣の菩提を供養しています。

クイズ

「外国へ行きたい。そして南方の新天地に「綿屋」(西村の屋号)ののれんをかけるのだ」太郎右衛門の夢は大きくふくらんでいきました。異国の地で成功した西村太郎右衛門の屋号は〇〇屋です。屋号は何でしょうか。

◆抽選で5名様
葺うどんお食事券ペアを差し上げます

ご希望の方は答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、官製はがき又はFAXでご応募下さい。抽選でお送りします。(応募締切は2月5日必着)

近江八幡市大杉町30の1(有)ほのぼのの館 クイズ係
FAX 0748-332-3514

当選の方は是非、ゆくり八幡堀界隈を散策してください！

前回の当選者発表

池田町	K.Kさん
中小森町	M.Tさん
田中江町	O.Aさん
馬淵町	S.Mさん
出町	O.Mさん

江戸時代初期の近江商人。安南(現ベトナム)に渡り巨利を博したと言われています。西村家は近江佐々木氏の一族より分れ、織田信長安土城築城時に愛知郡小幡庄田村(現東近江市)より移住した布施源左衛門の弟の嫡男嘉右衛門が西村と称したのを初代とします。なお、布施源左衛門の家系はこの後、代々西谷(最上屋)と称しました。西村太郎右衛門は初代西村嘉右衛門(綿屋の次男として1603年(慶長8年)頃誕生)の次男として誕生しました。初代・二代目西村嘉右衛門は八幡きりの豪商となり蚊帳、練綿を商い、共に近江八幡の町総年寄を勤め名手帯刀が許されていました。当時、近江商人は、東北地方から九州にかけて各地に、行商や出店に手を延ばし、着々とその地歩を固めていきました。その旺盛な開拓精神は、当然のことのように、海外発展の夢につながっていきました。その代表的な人こそ、西村太郎右衛門といえます。幼少時代から負けず嫌いの腕白坊主だったといわれ、兄と共に、父の家業である蚊帳、木綿の商いの手助けをし、遠近の国々を歩き回っていました。

近江八幡の町は、もともと豊臣秀次の城下町としてつくられ、ついで京極高次が領主となり、高次およびその父高吉はキリスト教を信じ、外人宣教師もこの町に入りしていました。したがって町民の中にも宣教師を通じて世界の情勢を知るものが少なくなかったのです。太郎右衛門の兄二代目西村嘉右衛門は1600年頃(慶長5年)に生まれ、当時、海外貿易の一方の雄に京都の角倉了以(すみのくらりょうい)がいました。いわゆる角倉船と呼ばれた大船を、南方アジアの各地に走らせ、大きな利益を得ていました。角倉家は近江源氏佐々木氏から出て、吉田氏を名のり、代々医を業としていたが、のち京都嵯峨の角倉に移って角倉の姓を名りました。一方、西村家の祖先も、佐々木の家臣として一城の主であった布施氏から分かれており、ことに当時、貿易のことを引き受けていた角倉了以(すみのくらりょうい)の叔父宗恂が豊臣秀次の侍医として八幡にとどまった際、太郎右衛門の父とも交渉があったりして両家は少なからぬつながりがありました。

太郎右衛門の安南渡航については、「九州より出た船が難破し安南にたどり着いた説、角倉了以による角倉船などの「采印船」に乗り込んだなどの説があり、実際の渡航手段は不明ですが、九州沖の難破船が安南に辿り着くことは難しく、安南での貿易等を目指し朱印船等の貿易船に乗り込んだものと考えられます。西村家の本家に当たる西谷家過去帳によれば「太郎右衛門は安南国交趾に住した」とされ、日本人街が確認されているフアイポイにいたのではないかと考えられています。なお、太郎右衛門は城の攻防戦の最中に安南に上陸し、城防衛側に味方して勝ちを取ったことからその地の王の信頼を得、巨万の富を得たとの話もあります。1647年(正保4年)3月吉日付けにて西村太郎右衛門より近江八幡の日本八幡宮に献納された「安南渡海船額(絵馬)」一面が同八幡宮にあり、重要文化財に指定されています。この絵馬は「一説によると鎖国を押しとどめる多くの財宝と兵に帰した太郎右衛門が、結局上陸を認められず、己む無く船上に長崎の絵師菱川孫兵衛を呼び寄せ自分をモデルに書かせたと言われており、一般的には他の安南在住者である伊勢松坂角屋七郎兵衛と同様に安南より日本に発注し書かせたものと考えられています。西谷家過去帳ではこの絵馬について「大唐安南国において死、當處八幡宮に歸國心願の繪馬あり」とされています。西村太郎右衛門は、絵馬奉納の4年後の1651年3月31日に満49歳で死去したと記録されています。

※参考文献 近江八幡人物伝 近江八幡郷土史会刊 ウィキペディア

2017-近江八幡節句人形めぐり

展示会場 第12回 町なみに装う ひいなのはほえみ

全32店舗 (1~32)

2/4(土)~3/26(日)

各家に伝わる大切な節句人形を展示します。マナーを守ってご見学くださるようお願いいたします。(見学無料ですが入館料が必要な館がございます。)

- 各事業所とも定休日や臨時休業等がございますので予めご了承ください。
- 日焼け防止のため屋内での展示店もあります。お気軽にお声掛けください。

観光ボランティアガイド
2名以上のグループで6日前までに近江八幡駅北口観光案内所までお申込みください。
TEL 0748-33-6061

- | | | | | |
|--|--|--|---|--|
| 1 京料理 宮前
TEL 33-0150 水曜定休(他不定休)
庭園を眺めながらお食事 | 7 築150年の商家「近江の里」の産地ショップ 麻香「ギャラリー淡海庵」
TEL 36-5801 月・火曜定休
江戸時代初期の立派な展示 | 13 天然木アクセサリーと数珠 レアウトピースBijoux美樹
TEL 33-5251 火曜定休 | 19 ヴォーリス建築 旧八幡郵便局
TEL 33-6521 火曜と不定休
レトロ前田大人の難遊び、極上ヒヤダ道具 多数販売中 | 25 着物・衣料・福祉用品 扇屋
TEL 32-3455 昭和40年代の人情です。 |
| 2 登録商標「でっちゃん」御菓子司 かみ平老舗
TEL 33-2559 水・木(第4)曜定休
昭和初期の人情です。 | 8 穀物と包材資料のお店 宮源商店
TEL 32-2515 日曜・祝日定休 | 14 古民家カフェで美味しいお茶を 逢茶 あまな
TEL 32-5295 火・水曜定休
京の名工が製作した職人形です。 | 20 地酒「湖東富貴」、郷土料理、喫茶 酒遊館
TEL 32-2054 火曜定休 | 26 まちづくり会社まっせ事務所 奥村邸
TEL 47-2045 地域のボランティアの協力で再生した町家です |
| 3 お店はお見せ、見いらしてね チュチュタムル
TEL 33-2850 無休
店内でコーヒーをどうぞ。 | 9 種々の種草当店へ 種清商店
TEL 32-2347 火曜定休 | 15 小あゆ煮・あゆの姿煮・鮎海し あゆの店 きむら 八幡橋店
TEL 32-1775 火曜定休 | 21 江戸末期創業の地酒屋を再生したお宿 MACHIYA INN
TEL 32-4654 不定休 (朝7:00~22:00)
八幡の町並みを見渡せる屋上ラウンジもあります | 27 やさしさと出会いを大切に しほし滋賀 野間清六郎
TEL 31-3058 コーヒー・抹茶の販売あり
3/3(金)のみまつり 参加料3000円(要予約) |
| 4 結納の店 織金
TEL 33-2210 人生の一大行事結納。 | 10 芸術と工芸ギャラリー 茨之乃 新町浜
TEL 36-5115 水曜定休
大正・昭和の人情です。 | 16 明治5年創業の老舗和菓子舗 たねや日年禮乃舎
TEL 33-4444 年中無休
古製の内職と地産・地産の職工の職人形。 | 22 しみんぶくし滋賀 あきんど道 たまり場
TEL 31-3058 土・日・祝定休 | 28 やさしさと出会いを大切に しほし滋賀 村久さん
TEL 36-5427 小規模多機能型介護サービス |
| 5 創業150年 でっちゃん業の老舗 和たつ
TEL 32-2610 火曜定休
昭和初期の愛らしいお人形です。 | 11 骨董美術品出しの品々 中島多吉商店
TEL 32-3888 大正・昭和の人情です。 | 17 江戸末、明治期の人形を展示しています。 観光案内所(お土産・喫茶あり) 白雲館(旧八幡東学校)
TEL 32-7003 年中無休 | 23 近江牛一筋に一世に かね吉山本 八幡店
TEL 32-3216 水曜定休 | 29 骨董の数々を一緒に ちろり米玲留(メル)
TEL 32-3801 不定休
2千円以上お買い上げで贈られ満足。 |
| 6 古町屋の雑貨屋さん 七七八(ななや)
TEL 32-1017 不定休(外から見学可)
明治・大正・昭和の人情です。見に来ね。 | 12 自然素材と手描き アトリエ藍
TEL 33-0070 不定休
昭和の久留米絵巻(節句人形)展示販売 | 18 古い町家の中に6つのお店 尾賀商店
TEL 32-5567 (木・金曜日定休)
カフェもあり、お食事もいただけます。 | 24 創業天明年4 表具師 立木屋
TEL 32-2592 (不定休)
おのりの遊び(まこ)道具や家具、小物等が揃っています。おぼあちゃんのぬいぐるみもお楽しみください | 30 骨董の数々を一緒に ちろり米玲留(メル)
TEL 32-3801 不定休
2千円以上お買い上げで贈られ満足。 |



お誕生日・記念日 花束プレゼント (2月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 10名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

- * 清川あさみ展 美術館「えき」KYOTO 2月14日迄 40名様
- * 追慕抄 九條武子 龍谷ミュージアム 2月19日迄 10名様
- * ウォルター・クレーンの本の仕事 滋賀県立近代美術館 3月26日迄 60名様
- * 京都芸大 美を語る スクラップブック 20名様
- * なんでもスクラップ帳 10名様
- * 京都新聞オリジナル トートバック白 20名様
- * 京都新聞2017年度オリジナル手帳 30名様
- * 京都新聞2017年度オリジナルカレンダー 20名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品名を上記の上、官製はがき又はFAXで下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。
締切は花束、1月31日迄 発送をもって終了承ください。
洗剤、チケット等は2月5日迄 発送をもって終了承ください。

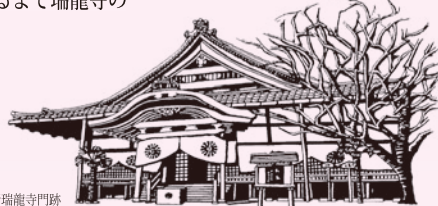
近江八幡の観光スポットを訪ねてみませんか! 村雲御所瑞龍寺門跡

むらくもごしよずいりゆうじもんせき

1585年(天正13年)、豊臣秀次公によって八幡山城が築城されました。標高271.9mの八幡山最頂部に本丸をもうけ、二の丸、西の丸、出丸が配置された一大要塞であったと推測されます。現在は石垣を残すのみですが、本丸跡には現在、村雲御所瑞龍寺門跡が建っています。秀次公の生母、智(とも日秀尼公)は子供のない弟・豊臣秀吉に長男の秀次を養子として出していました。1595年(文禄4年)秀次は切腹を命じられ、秀次の妻子も三条河原で処刑、夫の三好吉房も流刑となりました。瑞龍寺は1596年(文禄5年)、豊臣秀次の生母(秀吉の姉)日秀尼公により、秀次の菩提を弔うため、このとき京都嵯峨村雲の寺地(寺領1000石)と「瑞龍寺」の寺号を与えたのが後陽成天皇であり、このため瑞龍寺は日蓮宗寺院では唯一の門跡寺院となり、別名を村雲御所と称するようになりました。以後、代々皇女や公家の娘を貫首として迎え、江戸時代には嵯峨から西陣(現在の堀川今出川付近)に移転しました。その後、1788年(天明8年)天明の大火で全焼し、9世・日尊尼は1824年(文政7年)から28年の歳月を掛けて再建しました。1961年(昭和36年)、11世・日淨尼のとき、京都今出川堀川から秀次ゆかりの八幡山城址に移されましたが、日淨尼はその完成を見ず遷化されました。その後、1968年(昭和43年)入山したのが、小笠原氏出身の12世・日英尼です。日英尼は、以後の生涯を瑞龍寺の再建に捧げました。その後を嗣いだのが、宝塚歌劇団卒業生であった桜 緋紗子こと13世・日鳳尼です。日鳳尼は2002年(平成14年)3月20日に89歳で遷化するまで瑞龍寺の再建に寄与しました。14世・日澄尼までは尼僧でありましたが、現住15世は男僧の鷲津日英貫首(枚方市最妙寺より晋山)。

現在も村雲御所瑞龍寺は日蓮宗唯一の門跡寺院です。

豊臣秀次公の命日の7月15日には、瑞龍寺住職により供養が行われ市民も秀次法要に参加されます。なお秀次の胴塚は高野山、首塚と日秀の墓と歴代の尼僧の墓は、京都の善正寺にあります。秀次の幼児妻妾たち39人、賜死した家臣10人の墓と秀次の五輪の塔が京都の瑞泉寺にあります。(6月第1日曜日に「八幡山地蔵尊まつり」が開催されます)



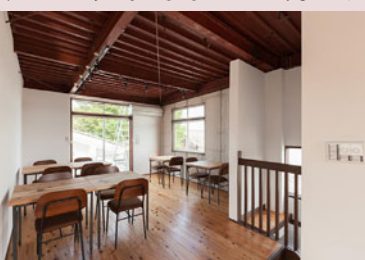
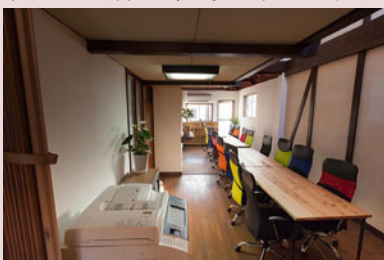
村雲御所瑞龍寺門跡

- ◆村雲御所瑞龍寺
〒523-0828 滋賀県近江八幡市宮内町19-9
瑞龍寺: TEL 0748-32-3323
交通: JR近江八幡駅北口より長命寺行きバス
大杉町下車 ロープウェイ乗車4分
(ロープウェイは15分間隔で運行)
拝観料: ひとり ¥300
- ◆八幡山ロープウェイ
【営業時間】
9:00 ~ 17:00 (上り最終は16:30)
【定休日】年中無休 TEL 0748-32-0303
- 【料金】
おとな: 片道490円、往復880円※おとな料金は中学生以上、
子ども: 片道250円、往復440円※子ども料金は6歳~12歳
*団体割引: 一般団体・大学生・高校生・中学生・小学生以下等
ロープウェイ一切売り場までお問い合わせください。

〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504



築300年の造り酒屋を再生した近江八幡の古き良き街並みの中にあるシェアードワークプレイス。異なる職業や仕事を持った人々で共有の仕事場等として利用するスペースです。



◆宿泊施設も完備しています! 詳細は下記にお問合せください。

co-ba OMIHACHIMAN MACHIYA-CLUB
営業時間 10:00-16:00
不定休(休業日はウェブサイトかFacebookページを確認ください。)
<http://tsukuruba.com/co-ba/omihachiman/>
TEL&FAX 0748-32-4654
E-mail coba.omihachiman@gmail.com
Facebookページ
<https://www.facebook.com/coba.omihachiman/>
〒523-0826 滋賀県近江八幡市仲屋町中21
(近江八幡まちや倶楽部内)
※酒遊館さんと旧近江八幡郵便局の向かいの建物
※駐車場はTimes駐車場(徒歩2分・最大500円/日)
自転車、バイクは施設内に駐車可です。

事業の事務所として、また打ち合わせ場所やNPO活動等の活動場所、そして週末の趣味の場所等、スペースの使い方は人それぞれです。
co-ba OMIHACHIMAN にもう一つの自分の拠点を作りませんか?
co-ba OMIHACHIMANは、どんなワークスタイルにもご利用いただけます。
月額利用(スタンダードプラン月額5,500円)、1day利用(500円/日)など、あなたの働き方に合わせてご利用可能です。また、約50人規模までのイベント会場としても建物内の蔵やラウンジをご利用いただけます。(貸切利用2,500円/3H~)